

競泳ルール改訂について（2014年4月1日より適用）

- “コース”という用語は“レーン”に変更する。
（レーンロープ、レーン逸脱、第1レーン・第2レーン・・・）
- 決勝は8レーンで行う。
- 背泳ぎのゴールの時は、体が完全に水没してはいけない。（体の一部が水面上に出ているなければならない）
（個人メドレーの際の背泳ぎのゴールの時も同様に水没してはいけない）
- 背泳ぎの折返しの動作中、身体が裏返しの状態になった後、一連の動作として片腕もしくは両腕同時のかきを「速やかに」行わなければならない。
- 平泳ぎ、バタフライの折返しおよびゴールタッチは、両手が同時にかつ離れた状態で行わなければならない。
手が重なり、両手でタッチしたかどうか判定できない状態は違反となる。
- 平泳ぎの折返しおよびゴールタッチ直前は足の蹴りに続かない腕のかきだけになってよい。
- “リレー”は“フリーリレー”と名称変更した。
- リレー競技の距離は4×50m、4×100mのように記載する。
当面は、競技で使用するシステムが対応できないので、“400mリレー”の記載を継続する。
通告では“400mフリーリレー”とする。
- 混合リレーが新設された。（男女各2名で構成）
- 混合リレーの第1泳者の記録は公認されない。（エントリータイムとして使えない）